

令和5年度
総合戦略
進捗確認シート

(令和6年度実施)

| 1. ずっと住み続けたいとおもいうまち<転出の抑制・住みやすいまちづくり> | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------------------|---------------------------|---------|---------|--------|-------|-------|-------------------------------|-------|-----------|--------------------|--------------------|---|--|
| KPI | | 実績値 | | 目標値 | 進捗率 | | 実施事業 | 担当課 | 予算事業名 | 令和5年度決算額 (単位:円) | 事業目的 に対する 評価 | 評価(実績)に対する分析 | 事業の 方向性 |
| | | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和8年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | | | | | | | |
| 農業支援 | ①新規就農者数(累積) | 3人 | 3人 | 5人 | 60% | 60% | 農業の振興 (→認定農業者・認定新規就農者への支援) | 産業振興課 | 農業振興整備事業 | 4,018,000 | ○ | 令和5年度で施設整備に対する支援を行ったが、認定農業者1軒への支援であり、認定農業者数は減少傾向にある。引き続き確保・支援を行っていく。 | ①事業継続 (維持) |
| | | | | | | | 新規就農者・地域担い手の育成 | 産業振興課 | 農業振興事業 | 1,500,000 | ○ | 令和3年度までに3名が新規就農者となったものの、その後は確保できなかった。引き続き新規就農者の確保を行っていく。 | ①事業継続 (維持) |
| 雇用の場の確保 | ②本田上工業団地残り面積 | 20,673㎡ | 20,673㎡ | 0㎡ | 68.8% | 68.8% | 本田上地区工業団地への企業誘致活動 | 産業振興課 | — | 公社 994,950 | ○ | 新聞広告を3回実施。契約には結びついていないが、年度を通じて3件の問い合わせがあった。今後とも完売に向け周知・営業を推進していく。 | ①事業継続 (維持) |
| | | | | | | | 本田上工業団地企業進出補助金 | 産業振興課 | 工場設置奨励金 | 2,865,600 | | 新規進出企業はなかったが、当該制度は企業立地及び町内雇用の効果が見込まれるため「○」の評価とした。今後とも完売に向け周知・営業を推進していく。 | ①事業継続 (維持) |
| | ③町内生産年齢人口数 ※各年度3.31時点 | 5,798人 | 5,602人 | 5,505人 | — | — | 雇用を確保するための事業所企業への支援 | 産業振興課 | — | — | ▼ | 先端設備導入計画による固定資産税の特例の適用などにより、町内事業所の支援を行った。引き続き、有利な制度の活用に向けて商工会と連携を行っていく。 | ①事業継続 (維持) |
| | ④町の支援を受けて起業・町内進出した企業数(累積) | 2社 | 4社 | 15社 | 13.3% | 26.7% | 起業支援事業 | 産業振興課 | 起業創業事業補助金 | 1,500,000 | | △ | 2事業所の起業があり、町内雇用の確保に繋がった。今後ともより一層の周知を行い応募の増加、開業向け関係機関と連携を図っていききたい。 |
| 住みやすいまちづくり | ⑤「住みやすい」と考える町民の割合(仮) | — | — | 80% | — | — | コンパクトシティ | 地域整備課 | 土地利用事業 | 1,716,981 | — | 令和4年度は、田上町都市計画マスタープランの部分改定を行い、令和5年度は、ホームページ等で周知を実施してきた。コンパクトシティの実現は、すぐに効果を出すのは難しく、今後も長い時間軸をかけながら引き続きPRの実施に努めたい。 | ①事業継続 (維持) |
| | | | | | | | 田上町暮らし応援フォーム補助金事業 | 地域整備課 | 住宅管理事業 | 4,373,000 | | ○ | 町広報誌、ホームページ、道の駅たがみの情報発信施設のモニター及び建築確認申請の現地調査等において、補助金のPRに努めた結果、令和5年度においては、40件の申請件数であった。令和4年度と比較して減少したが、それでも、転出抑制に繋がり、また町内施工業者の需要を創出し、地域経済の活性化を図った。今後は、アンケート結果を踏まえながら、さらなる制度のブラッシュアップに取り組んでいきたい。 |

| KPI | | 実績値 | | 目標値 | 進捗率 | | 実施事業 | 担当課 | 予算事業名 | 令和5年度決算額 (単位:円) | 事業目的 に対する 評価 | 評価(実績)に対する分析 | 事業の 方向性 |
|------------|----------------------|-------|-------|-------|-------|-------|--|-------|--|---|--------------------|--|------------|
| | | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和8年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | | | | | | | |
| 住みやすいまちづくり | ⑤「住みやすい」と考える町民の割合(仮) | - | - | 80% | - | - | 403号バイパスを中心とした主要道路の整備促進による交通ネットワークの向上と住環境の向上 | 地域整備課 | 道路改良工事事業 舗装新設工事事業 | 27,236,000 | ○ | 地区からの要望を踏まえ、令和5年度は、道路改良工事で、5箇所、舗装新設工事で2箇所を実施済である。主に住環境の向上に寄与し、今後においても、要望に注視しながら実施していきたい。 | ①事業継続(維持) |
| | | | | | | | ごみのないきれいなまちづくり | 町民課 | 環境衛生事業 | 222,006,796 | ○ | 町民課職員による空き缶回収を実施した。今後も空き缶回収を継続すると共に、不法投棄の防止を図るための不法投棄禁止看板の設置などにより環境美化の向上に努めていく。 | ①事業継続(維持) |
| | | | | | | | 田上町スポーツ協会との連携 | 教育委員会 | 各種大会費 | 2,145,000 | ○ | スポーツを通し世代間、地域間交流を図る事が出来た。 | ①事業継続(維持) |
| | | | | | | | 文化・交流促進 | 教育委員会 | 文化祭事業 | 293,832 | ◎ | 展示期間を長くしたことにより観覧者が増加した | ①事業継続(維持) |
| | | | | | | | 暮らしなれた地域で安心して暮らせる基盤づくり | 保健福祉課 | 難聴者補聴器購入費助成事業 訪問型サービス事業 通所型サービス事業 地域包括支援センター事業 地域リハビリテーション活動支援事業 成年後見制度利用支援事業 認知症サポーター等養成講座 在宅医療・介護連携推進事業 認知症地域支援・ケア向上事業 地域ケア会議推進事業 生活支援体制整備事業 | 905,000 6,009,124 24,040,197 3,673,419 60,000 252,000 18,000 210,962 23,000 222,700 5,630,000 計 41,044,402 | ○ | 事業を通し、各種の取り組みを行い、地域の包括的な支援・サービス提供体制(地域包括ケアシステム)づくりを推進することができた。また、町政施行50周年記念事業として、「地域支え合いフォーラム」を実施し、暮らし慣れた地域で安心して暮らせるようなきっかけ作りを考える取り組みを行った。さらにフォーラム終了後、田上町の支え合いの仕組み作りについて、3回の勉強会を実施し、今後も具体的な居場所作りや、支え合いの仕組み作りに取り組んでいく必要がある。 | ①事業継続(維持) |
| | | | | | | | 健康寿命の延伸 (ライフステージに応じた健康づくり事業) | 保健福祉課 | 介護予防普及啓発事業 老人クラブ助成事業 老人福祉センターの有効活用 | 5,481,775 1,194,854 9,031,741 計 15,708,370 | ○ | 各種、介護予防事業や、教室などを通し、運動の場、交流の場として利用され、健康寿命の延伸に寄与したと考える。 | ①事業継続(維持) |
| | | | | | | | 新しい公共交通の実証運行 | 産業振興課 | 公共交通実証運行業務補助金 | 4,798,970 | ◎ | 高齢者を中心として町民の移動手段として効果があった(利用R4 2,980人→R5 3,612人)。今後とも町民ニーズをくみ取りつつ、事業を推進していく。 | ①事業継続(維持) |

| KPI | | 実績値 | | 目標値 | 進捗率 | | 実施事業 | 担当課 | 予算事業名 | 令和5年度決算額 (単位:円) | 事業目的 に対する 評価 | 評価(実績)に対する分析 | 事業の 方向性 |
|--|-------------------|-------|-------|-------|-------|-------|---------------------|--------------|--------------|--------------------|--------------------|---|---------------|
| | | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和8年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | | | | | | | |
| 住 み や す い し め し ま す | ⑥新規住宅着工件数 (年間) | 28件 | 23件 | 30件 | 93% | 76% | 住宅地開発に向けた民間事業者の働きかけ | 総務課 地域整備課 | — | 0 | ○ | 不動産業団体や建設業団体などを通じて働きかけを行ったが、成果を上げられていない。要因は様々であるが、地価下落の影響が大きと考えられる。今後は、個人向け住宅支援の拡充など事業方向性の見直しも必要と考える。 | ①事業継続 (維持) |
| | | | | | | | 田上町マイホーム取得支援補助金事業 | 地域整備課 | 住宅管理事業 | 4,150,000 | ○ | 町広報誌、ホームページ、道の駅たがみの情報発信施設のモニター及び建築確認申請の現地調査等において、補助金のPRに努めた結果、令和5年度においては、17件の申請件数であった。令和4年度は、10件であったため、件数の増に繋がり、人口減少対策の一助となった。今後は、アンケート結果を踏まえながら、さらなる制度のブラッシュアップに取り組んでいきたい。 | ①事業継続 (維持) |
| | ⑦地域たすけあい事業 | 4団体 | 4団体 | 10団体 | 40% | 40% | 地域たすけあいによる生活支援 | 保健福祉課 | 地域たすけあい事業委託料 | 100,950 | ○ | 除雪支援や草刈り、さらに一人暮らし高齢者や家族が遠方にいる高齢者に対し、日常的なゴミ出し支援を行うなど、高齢になっても地域で自立した生活を送れるように支援ができたのではないかと考える。 | ①事業継続 (維持) |

2. 新しい人の流れがあるまち<転入促進・情報発信・にぎわい>

| KPI | | 実績値 | | 目標値 | 進捗率 | | 実施事業 | 担当課 | 予算事業名 | 令和5年度決算額 (単位：円) | 事業目的 に対する 評価 | 評価(実績)に対する分析 | 事業の 方向性 |
|---|--|-------|-------|-------|-------|-------|-------------------------|--------------|--------------|--------------------|--------------------|--|---------------|
| | | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和8年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | | | | | | | |
| ①移住者数 (累計、町の移住施策等 を利用している町外から転入 した方) | | 55人 | 91人 | 225人 | 24% | 40% | 遊休地の有効活用 | 総務課 | 町有財産管理事業 | - | - | 令和4年度に土地が売れ、現状、有効活用可能な遊休地はない状況となっている。今後、活用可能な土地が生じた場合は、売却する等活用方法を検討し、必要な手続きを実施していく。 | ①事業継続 (維持) |
| | | | | | | | 住宅賃貸事業 | 総務課 | 少子化・定住対策事業 | 0 | ▼ | 制度対象となる移住支援金対象者がいなかったため、当該事業分予算は未執行。移住支援金について、よりアピールに努める。 | ④廃止・休止 |
| | | | | | | | 移住お試し宿泊事業 | 総務課 | 少子化・定住対策事業 | 0 | ▼ | 利用が無かったため、当該事業分予算は未執行。移住イベント等でも案内するが、利用のない状況である。そもそも田上町に知名度が無く、田上町に縁がない方の転入が難しいことから、事業内容について廃止も含めて見直したい。 | ④廃止・休止 |
| | | | | | | | 地域おこし協力隊の活用 | 総務課 | 地域おこし協力隊活動事業 | 9,466,969 | ◎ | 1名の新規隊員を採用できた。引き続き、予定人数を採用できるように活動していく。 | ①事業継続 (維持) |
| | | | | | | | 住宅地開発に向けた民間事業者の働きかけ【再掲】 | 総務課 地域整備課 | - | 0 | ○ | 不動産業団体や建設業団体などを通じて働きかけを行ったが、成果を上げられていない。要因は様々であるが、地価下落の影響が大きと考えられる。今後は、個人向け住宅支援の拡充など事業方向性を見直しも必要と考える。 | ①事業継続 (維持) |
| | | | | | | | 田上町暮らし応援リフォーム補助金事業【再掲】 | 地域整備課 | 住宅管理事業 | 4,373,000 | ○ | 町広報誌、ホームページ、道の駅たがみの情報発信施設のモニター及び建築確認申請の現地調査等において、補助金のPRに努めた結果、令和5年度においては、40件の申請件数であった。令和4年度と比較して減少したが、それでも、転出抑制に繋がり、また町内施工業者の需要を創出し、地域経済の活性化を図った。今後は、アンケート結果を踏まえながら、さらなる制度のブラッシュアップに取り組んでいきたい。 | ①事業継続 (維持) |
| | | | | | | | 田上町マイホーム取得支援補助金事業【再掲】 | 地域整備課 | 住宅管理事業 | 4,150,000 | ○ | 町広報誌、ホームページ、道の駅たがみの情報発信施設のモニター及び建築確認申請の現地調査等において、補助金のPRに努めた結果、令和5年度においては、17件の申請件数であった。令和4年度は、10件であったため、件数の増に繋がり、人口減少対策の一助となった。今後は、アンケート結果を踏まえながら、さらなる制度のブラッシュアップに取り組んでいきたい。 | ①事業継続 (維持) |
| | | | | | | | 連携協定大学との連携 | 総務課 | - | - | ○ | 予定通り連携を行っている。イベントのみでなく、学生が地元に着着するようなアプローチも検討していきたい。 | ①事業継続 (維持) |

| K P I | | 実績値 | | 目標値 | 進捗率 | | 実施事業 | 担当課 | 予算事業名 | 令和5年度決算額 (単位：円) | 事業目的 に対する 評価 | 評価（実績）に対する分析 | 事業の 方向性 |
|-------|-------------------------|----------|----------|------------|-------|-------|----------------------------|-------|---|--------------------|--------------------|---|----------------|
| | | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和8年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | | | | | | | |
| 転入促進 | ②空き地・空き家再生件数 (累計) | 2件 | 3件 | 25件 | 8% | 12% | 転入者の促進 (空き家・空き地の活用推進) | 総務課 | - | - | ▼ | 空き家バンクの登録件数、相談件数が共に増加しているものの、成約件数が伸び悩んでいる。空き家が増加傾向にある中、利活用に向けた新たな施策が必要と考える。 | ②事業見直し (拡充) |
| | | | | | | | 田上町暮らし応援リフォーム補助金事業 【再掲】 | 地域整備課 | 住宅管理事業 | 4,373,000 | ○ | 町広報誌、ホームページ、道の駅たがみの情報発信施設のモニター及び建築確認申請の現地調査等において、補助金のPRに努めた結果、令和5年度においては、40件の申請件数であった。令和4年度と比較して減少したが、それでも、転出抑制に繋がり、また町内施工者の需要を創出し、地域経済の活性化を図った。今後は、アンケート結果を踏まえながら、さらなる制度のブラッシュアップに取り組んでいきたい。 | ①事業継続 (維持) |
| | | | | | | | 田上町マイホーム取得支援補助金事業 【再掲】 | 地域整備課 | 住宅管理事業 | 4,150,000 | ○ | 町広報誌、ホームページ、道の駅たがみの情報発信施設のモニター及び建築確認申請の現地調査等において、補助金のPRに努めた結果、令和5年度においては、17件の申請件数であった。令和4年度は、10件であったため、件数の増に繋がり、人口減少対策の一助となった。今後は、アンケート結果を踏まえながら、さらなる制度のブラッシュアップに取り組んでいきたい。 | ①事業継続 (維持) |
| 情報発信 | ③通年観光入込客数 (年間、道の駅含む) | 751,316人 | 771,543人 | 1,400,000人 | 54% | 55% | 観光資源の管理・振興事業 | 産業振興課 | 椿寿荘管理事業、護摩堂事業、護摩堂管理事業、観光事業、観光総合事業など（指定管理委託料は除く） | 130,290,890 | ○ | 観光協会、旅館組合、道の駅たがみなどと連携したPR活動により入込客数が増加した。引き続き、多くの方が来場されるよう情報発信を行っていく。 | ①事業継続 (維持) |
| | | | | | | | 観光情報発信・イベント支援 | 産業振興課 | 観光事業、観光総合事業、道の駅たがみ管理事業、湯っ多里館管理事業 | 1,342,440 | | | |

| KPI | | 実績値 | | 目標値 | 進捗率 | | 実施事業 | 担当課 | 予算事業名 | 令和5年度決算額 (単位:円) | 事業目的 に対する 評価 | 評価(実績)に対する分析 | 事業の 方向性 |
|------|--|----------|----------|----------|-------|--------------------|-------------------------------------|--------------|---------------|--------------------|--------------------|---|------------|
| | | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和8年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | | | | | | | |
| 情報発信 | ④町ホームページのアクセス数 (累計、移住支援のディレクトリ+観光のディレクトリ+ポータルサイト) | 192,718件 | 232,602件 | 750,000件 | 26% | 31% | 連携中枢都市圏事業 | 総務課 | 連携中枢都市圏連携事業 | 73,812 | ◎ | 令和5年度は移住イベントに2回参加した。イベントが直接移住増につながった実績はないが、単独でイベントに参加するよりは、連携中枢都市圏で参加した方が移住希望者に訴求できるため、引き続き現在の活動を行っていく。 | ①事業継続(維持) |
| | | | | | | | 町の認知度を高める広報戦略 | 総務課 | 広報事業 | 2,473,756 | ◎ | 情報発信施設での動画配信等、道の駅を中心として情報発信を行った。認知度が向上したかどうかの効果測定は難しいが、今後はメディアを活用した情報発信を検討していく。 | ②事業見直し(拡充) |
| | | | | | | | メール配信による情報提供 | 総務課 | 地域情報化推進事業 | 40,150 | ◎ | 安定して町内に情報発信を行うことができている。引き続き確実に情報を提供できるよう実施していく。 | ①事業継続(維持) |
| | | | | | | | 田上町プロモーションビデオの制作 (田上町のプロモーション活動) | 総務課 | 広報事業 | 2,473,756 | ◎ | 令和5年度はふるさとCM、50周年記念動画を作成し、情報発信施設やWebでの情報発信を行った。動画再生回数は全PR動画合わせて1万回以上となっている事から、移住者等への町のPRに繋げることができた。引き続きプロモーション動画作成を行うと共に、町のプロモーション活動を行っていく。 | ①事業継続(維持) |
| | | | | | | | ふるさと納税を活用したまちのPRの強化 | 総務課 | ふるさと田上応援寄附金事業 | 10,369,435 | ○ | 首都圏の駅等でポスター、サインージ掲示など町外者へのPRを行った。その結果、ゴルフ場、湯田上温泉利用補助券の申込が前年比約1.3倍増となり、町外者の来町に繋げる事ができた。引き続き、ふるさと納税を通じた町のPRを強化していく。 | ①事業継続(維持) |
| | | | | | | | 「移住ポータルサイト」の開設 | 総務課 | - | 0 | ◎ | 地域おこし協力隊の作成する記事のview数が多く、町外の方への田上町の認知度向上に大きく貢献している。引き続き実施していく。 | ①事業継続(維持) |
| | | | | | | | 移住・定住サポーター事業 | 総務課 | - | 0 | ▼ | 応募は1件のみにとどまっている。アピールの場を設け、制度の周知に努める。 | ①事業継続(維持) |
| | ⑤道の駅たがみへの来訪者数 | 月33,000人 | 月36,000人 | 月25,000人 | 132% | 144% | 道の駅ホームページへの支援策の掲載 | 産業振興課 総務課 | - | - | ◎ | 道の駅たがみを拠点とした各種イベントの開催などを通じ、目標を達成している。今後とも指定管理者をはじめ関係者で協議を深め目標達成に努める。 | ①事業継続(維持) |
| | | | | | | 道の駅情報発信施設を利用した制度周知 | 産業振興課 総務課 | - | - | | | | |

| 3. 子育ての希望がかなうまち<少子化の抑制> | | | | | | | | | | | | |
|--|-------|-------------|-----------|-------|--|----------------|-------|--|--|--------------------|---|----------------|
| KPI | 実績値 | | 目標値 | 進捗率 | | 実施事業 | 担当課 | 予算事業名 | 令和5年度決算額 (単位:円) | 事業目的 に対する 評価 | 評価(実績)に対する分析 | 事業の 方向性 |
| | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和8年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | | | | | | | |
| 子育て支援・子育て環境の充実 ①町の年少人口 (0~14歳人口) ※各年度3.31時点 | 946人 | 896人 | 1,046人 | — | — | 不妊治療費助成事業 | 保健福祉課 | 特定不妊治療助成事業 | 80,000 | ○ | 高額な治療に対し、経済的負担の軽減を図ったことで、1組の妊娠成立へ繋げられた。今後も妊娠・出産の希望を叶えるため、不育症治療費助成と一体の事業として取り組んでいく。 | ①事業継続 (維持) |
| | | | | | | 妊婦医療費助成・妊婦健診 | 保健福祉課 | 妊産婦医療費助成事業 | 717,202 2,964,450 計 3,681,652 | ○ | 妊婦数が減少したことにより、昨年度と比較して両事業とも減少している。妊婦が安心して出産を迎えられる事業として取り組んでおり、支援につながっていることから、今後も継続して取り組んでいく。 | ①事業継続 (維持) |
| | | | | | | 出産から子育てまでのサポート | 保健福祉課 | 母子健康診査事業 母子保健事業 子ども医療費助成事業 子育て世代包括支援センター事業 新生児聴覚スクリーニング検査事業 養育費確保支援事業 妊産婦新生児訪問指導事業 | 3,034,884 410,362 29,512,575 268,815 78,000 10,100 294,500 計 33,609,236 | ○ | いずれの事業も、安心して子どもを産み育てるための環境を整えるために実施している。5年度の出生数は4年度に比べると減少したが、子どもの健やかな成長と子育て世帯の経済的、精神的負担を減少させることに寄与できたと考えられる。地域のつながりの希薄化、核家族化などにより孤立感、負担感が高まる中で、妊婦や子育て世帯が安心して妊娠・出産を経て子育てできるよう切れ目のない支援が今後も必要である。 | ①事業継続 (維持) |
| | | | | | | 乳幼児育児用品購入費助成事業 | 保健福祉課 | 乳幼児育児用品購入費助成事業 | 1,894,000 | ○ | 出生数の減に伴い、昨年度と比較して減少しているが、2歳までのお子さんのいる保護者に対し、月々の育児用品購入にかかる費用の経済的負担の軽減に寄与することができたと考えられる。国が「出産・子育て応援交付金」を恒久化し、2歳までの子育て世帯を支援することから、町が行うこの制度については一つの区切りを迎えたと考えられる。 | ④廃止・休止 |
| | | | | | | 子育て応援カード | 保健福祉課 | 子育て応援カード | 67,526 | ○ | 新潟広域都市圏連携事業によって、町外でも利用できる店舗が増えたことで、子育て世帯への経済的負担の軽減を図ることができたと考える。また、町内の協賛店についても、町外からの利用もあるため、良い効果が出ていると考える。R6より新潟市が18歳まで対象を拡大したことや妊婦も対象としていることを踏まえて、この事業について検討していく必要がある。 | ②事業見直し (拡充) |
| 子育て支援センター事業 | 教育委員会 | 子育て支援センター事業 | 3,509,689 | ○ | R5利用者数 2,778名 新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、利用者数の制限をなくしたことで利用者増となった。子育て支援に一定の効果のある事業であると考えられる。今後も利用者のニーズに応えながら、事業を進めていく。 | ①事業継続 (維持) | | | | | | |

| KPI | | 実績値 | | 目標値 | 進捗率 | | 実施事業 | 担当課 | 予算事業名 | 令和5年度決算額 (単位：円) | 事業目的 に対する 評価 | 評価（実績）に対する分析 | 事業の 方向性 |
|----------------|------------------------------------|-------|-------|--------|-------|-------|------------------------|-------|-------------------------|---|--------------------|--|----------------|
| | | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和8年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | | | | | | | |
| 子育て支援・子育て環境の充実 | ①町の年少人口 (0～14歳人口) ※各年度3.31時点 | 946人 | 896人 | 1,046人 | — | — | 保育サービスの拡充 | 教育委員会 | 児童福祉総務事業 児童福祉総務その他事業 | 266,143,191 | ○ | 延長保育・土曜希望保育など保育サービスの充実により、子育て支援に効果のある事業と考えられる。今後も保護者の就労支援としてサービスの充実を図っていく。 | ①事業継続 (維持) |
| | | | | | | | 病児保育事業の推進 | 教育委員会 | 児童福祉総務事業 | 8,473,000 | ◎ | R5実績（田上町分） 45名 昨年度比で17名の増であり、利用の多い年齢層としては1～3歳が29人、4～6歳が14人となっている。子育て支援に一定の効果のある事業であると考えられる。 | ①事業継続 (維持) |
| | | | | | | | 学校給食費補助金 | 教育委員会 | 教育費支援推進事業 | 田上町学校給食会 小学校会計分 535,000 中学校会計分 385,000 計 920,000 | ◎ | 統一方式米と独自方式米との差額分を補助することで、保護者の負担軽減に一定の効果が得られた。引き続き児童生徒に地元産コシヒカリを提供できるよう実施していく。 | ①事業継続 (維持) |
| | | | | | | | 田上子育て応援米支給事業等 | 総務課 | 少子化・定住対策事業 | 630,000 | ◎ | 126名に体操着を贈呈した。一定の子育て支援効果があったと考えられるが、比較的少額での支援であることから、効果は不明である。制度発足当初想定していた効果（米の地産地消も併せての効果）について、現在では米の贈呈を取りやめていることから、一度制度内容について実施の要否を含めて見直す。 | ③事業見直し (縮小) |
| | | | | | | | 学童保育事業 | 教育委員会 | 学童保育事業 | 10,856,263 | ◎ | 児童クラブを希望する方、全てを受け入れる事が出来た。 | ①事業継続 (維持) |
| | | | | | | | 「田上の12か年教育」「キャリア」教育の推進 | 教育委員会 | — | — | ◎ | 各園校で教育の質の向上を目指し教育活動の充実に取り組んだ。今後も田上の12か年教育を推進するため、園、学校、家庭および地域との協働をより一層充実させ、特色ある教育活動に取り組んでいく。 | ①事業継続 (維持) |
| | | | | | | | 多世代による子育ての環境づくり | 保健福祉課 | 母子保健事業 | 44,000 | ○ | 妊娠届の際に祖父母手帳を発行し、多世代による子育ての大切さについて伝えることができた。今後も、祖父母世代と親世代との世代間のコミュニケーションの重要性について、講演会等も実施し、子育てしやすい環境づくりを行っていく。 | ①事業継続 (維持) |
| | | | | | | | 既存施設を活用した子どもの遊び場の提供 | 教育委員会 | 交流会館その他事業 | 30,250 | ◎ | 交流会館3階に常設の遊具を設置したり、多目的ホールを開放し遊具を設置し町内外の子どもや親の居場所、交流の場となった。 | ①事業継続 (維持) |
| | | | | | | | 子どもの遊び場の確保・公園の維持管理 | 地域整備課 | 公園管理事業 公園その他事業 | 5,525,033 | ○ | 地区やPTAの要望を踏まえ、令和5年度においては、地区公園に2台の遊具を設置（更新）することができ、子どもたちの遊べる環境を整備した。今後も、遊具の設置のニーズもあることから計画的に取り組んでいきたい。 | ①事業継続 (維持) |

| K P I | | 実績値 | | 目標値 | 進捗率 | | 実施事業 | 担当課 | 予算事業名 | 令和5年度決算額 (単位：円) | 事業目的 に対する 評価 | 評価（実績）に対する分析 | 事業の 方向性 |
|----------------|-------------------------------------|--------|--------|--------|-------|-------|--------------------------|-------|------------------------------------|--------------------|--------------------|--|---------------|
| | | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和8年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | | | | | | | |
| 子育て支援・子育て環境の充実 | ①町の年少人口 (0～14歳人口) ※各年度3.31時点 | 946人 | 896人 | 1,046人 | — | — | 私立高等学校学費助成 | 教育委員会 | 教育費支援推進事業 | 720,000 (60人) | ◎ | 見込んでいた進学人数より実績は少なかったが、保護者の負担軽減に一定の効果が得られた。今後も継続して実施していく。 | ①事業継続 (維持) |
| | | | | | | | 大学等利子補給事業 | 教育委員会 | 教育費支援推進事業 | 659,989 (21人) | ◎ | 見込んでいた申請件数より実績は多かった。保護者の負担軽減に一定の効果が得られたため、今後も継続して実施していく。 | ①事業継続 (維持) |
| | | | | | | | 医療環境改善 | 保健福祉課 | 保健衛生事業 | 1,089,500 | ○ | 毎週日曜日と祝祭日に、輪番制で加茂市医師会所属の医療機関が休日当番医を実施。休日でも医療を受けられる体制を提供し、子育て世代を含む町民全体の健康維持に寄与したと考えられる。県央基幹病院開院後も身近な地域での医療を提供するため、加茂市、加茂市医師会と協力して実施していく。 | ①事業継続 (維持) |
| | ②ターゲット層 (20～39歳)人口 ※各年度3.31時点 | 1,716人 | 1,634人 | 1,747人 | — | — | 新婚・子育て世帯向け個人住宅取得資金利子補給事業 | 総務課 | 少子化・定住対策事業 | 3,300,000 | ▼ | 令和5年度は22名に交付した。新婚・子育て世帯への財政負担の軽減には一定程度効果があったと思われるが、町への定住促進を図る事業目的に関しては、本補助金が町に家を建てるきっかけとはなっていない現状があり、定住促進という事業効果は得られていない。そのため、事業について予定通り事業対象となる借入期間を令和6年12月末までとし、事業を終了としたい。今後は新婚・子育て世帯向けの住宅施策に関して、他課実施の住宅施策の拡充等を検討したい。 | ④廃止・休止 |
| | | | | | | | 県マッチングサイト「ハートマッチにいがた」の活用 | 総務課 | 少子化・定住対策事業 (ハートマッチにいがた入登録料補助事業) | 5,500 | ◎ | ハートマッチにいがたの臨時登録所を田上町で2回開設することが出来た。登録補助も開始したため、引き続き実施していきたい。(登録補助実績1件) | ①事業継続 (維持) |

最重点目標

| 重要業績評価指標 (KPI) | 基準値 | 実績値 | | 進捗率 | | 目標値 | 実績に対する分析・評価 |
|--------------------|------------|------------|------------|-------|-------|--------|--|
| | 令和2年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和8年度 | |
| 20代・30代の社会減抑制を実現する | 年間 49人減 | 年間 53人減 | 年間 58人減 | 35.8% | 32.8% | 年間19人減 | 令和5年度は58人の社会減となった。20代は56人減、30代は2人減であった。20代の転出の理由としては職業が大半を占めている。一方、20代後半から30代は、住宅を理由とする転入が主となり、社会増が13人となっている。合わせて0才～14才の転入も社会増8人となっており、子育て世帯が転入してきている事が分かる。 20代前半の社会減の抑制は、地方全体の課題となるため、当町の施策のみでは難しい。20代後半から30代の子育て世帯の転入を促進する施策を強化を検討していく。 |

◎ 進捗率100%以上 ○ 進捗率50~99%
 △ 進捗率25~49% ▼ 進捗率24%以下

| 1. ずっと住み続けたいとおもうまち<転出の抑制・住みやすいまちづくり> | | | | | | | | |
|--------------------------------------|--|---------|---------|--------|-------|----------------------|--|---|
| KPI | 実績値 | | 目標値 | 進捗率 | | KPI達成グラフ ※点線はR8年度目標値 | KPI達成度 | |
| | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和8年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | | | |
| 農業支援 | ①新規就農者数(累積) | 3人 | 3人 | 5人 | 60% | 60% | <p>新規就農者数(累計)(人)</p> | ○ |
| | ②本田上工業団地残り面積 | 20,673㎡ | 20,673㎡ | 0㎡ | 68.8% | 68.8% | <p>本田上工業団地残り面積(㎡)</p> | ○ |
| 雇用の場の確保 | ③町内生産年齢人口数 ※各年度3.31時点 ※基準年(R2)6,073人 →目標(R8)5,505人 R4~R8の5年間で-568人 年-113人を目標値とする。 | 5,798人 | 5,602人 | 5,505人 | — | — | <p>町内生産年齢人口数(人)</p> <p>前年比-196人 (目標比57.7%)</p> | ○ |
| | ④町の支援を受けて起業・町内進出した企業数(累積) | 2社 | 4社 | 15社 | 13.3% | 26.7% | <p>起業・町内進出した企業数(累積)(社)</p> | △ |
| 住みやすいまちづくり | ⑤「住みやすい」と考える町民の割合(仮) | — | — | 80% | — | — | <p>「住みやすい」と考える町民の割合(仮)(%)</p> <p>評価できません</p> | — |
| | ⑥新規住宅着工件数(年間) | 28件 | 23件 | 30件 | 93% | 76% | <p>新規住宅着工件数(年間)(件)</p> | ○ |
| | ⑦地域たすけあい事業 | 4団体 | 4団体 | 10団体 | 40% | 40% | <p>地域たすけあい事業(団体)</p> | △ |

2. 新しい人の流れがあるまち<転入促進・情報発信・にぎわい>

◎ 進捗率100%以上 ○ 進捗率50~99%
 △ 進捗率25~49% ▼ 進捗率24%以下

| KPI | 実績値 | | 目標値 | 進捗率 | | KPI達成グラフ ※点線はR8年度目標値 | KPI達成度 | |
|------|--|----------|----------|------------|-------|----------------------|--|---|
| | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和8年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | | | |
| 転入促進 | ①移住者数 (累計、町の移住施策等を利用して いる町外から転入した方) | 55人 | 91人 | 225人 | 24% | 40% | <p>移住者数(人)</p> <p>225</p> | △ |
| | ②空き地・空き家再生件数 (累計) | 2件 | 3件 | 25件 | 8% | 12% | <p>空き地・空き家再生件数(累計)(件)</p> <p>25</p> | ▼ |
| 情報発信 | ③通年観光入込客数 (年間、道の駅含む) | 751,316人 | 771,543人 | 1,400,000人 | 54% | 55% | <p>通年観光入込客数(人)</p> <p>1,400,000</p> | ○ |
| | ④町ホームページのアクセス数 (累計、移住支援のディレクトリ+ 観光のディレクトリ+ポータルサイト) | 192,718件 | 232,602件 | 750,000件 | 26% | 31% | <p>町ホームページのアクセス数(件)</p> <p>750,000</p> | △ |
| | ⑤道の駅たがみへの来訪者数 | 月33,000人 | 月36,000人 | 月25,000人 | 132% | 144% | <p>道の駅たがみへの来訪者数(月/人)</p> <p>25,000</p> | ◎ |

◎ 進捗率100%以上 ○ 進捗率50~99%
 △ 進捗率25~49% ▼ 進捗率24%以下

| 3. 子育ての希望がかなうまち<少子化の抑制> | | | | | | KPI達成グラフ ※点線はR8年度目標値 | | KPI達成度 |
|-------------------------|---|--------|--------|--------|-------|----------------------|--|--------|
| KPI | 実績値 | | 目標値 | 進捗率 | | | | |
| | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和8年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | | | |
| 子育て支援・子育て環境の充実 | ①町の年少人口(0~14歳人口) ※各年度3.31時点 ※基準年(R2)1,007人 →目標(R8)1,046人 R4~R8の5年間で-39人 年間-7人を目標値として算出 | 946人 | 896人 | 1,046人 | — | — | | ▼ |
| | ②ターゲット層(20~39歳)人口 ※各年度3.31時点 ※基準年(R2)1,826人 →目標(R8)1,747人 R4~R8の5年間で-79人 年間-15人を目標値として算出 | 1,716人 | 1,634人 | 1,747人 | — | — | | ▼ |

最重点目標

◎ 進捗率100%以上 ○ 進捗率50~99%
 △ 進捗率25~49% ▼ 進捗率24%以下

| 重要業績評価指標 (KPI) | 実績値 | | 目標値 | 進捗率 | | KPI達成グラフ ※点線はR8年度目標値 | KPI達成度 |
|--------------------|------------|------------|------------|-------|-------|----------------------|--------|
| | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和8年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | | |
| 20代・30代の社会減抑制を実現する | 年間 53人減 | 年間 58人減 | 年間 19人減 | 35.8% | 32.8% | | △ |